

平成24年4月13日
受信環境クリーン中央協議会

電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人12件、団体3件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：岡井 元 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月16日（月）午後5時15分からKKRホテル東京「孔雀の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
にしはた ひろあき 西畑 宏昭	（近畿日本鉄道（株）元大阪輸送統括部施設部電気課長）	関西鉄道協会の電波障害対策検討ワーキンググループを立ち上げ、主査として地デジ化問題における全国の鉄道会社の立場を明確にするとともに、地デジ化対策の都市計画事業の電波障害対策設備の地デジ化を設備の維持管理者の負担で行うよう費用化負担の協議を重ね、地域社会に貢献した。
そめや しげる 染谷 茂	（東日本旅客鉄道（株）大宮支社設備部信号通信課）	約11年もの間、テレビ受信障害対策に関する業務を担当し、新幹線沿線における安定したテレビ受信環境の確保のため、保守会社との連携を密にしながら共聴施設の機能維持に貢献した。また、地上デジタル放送への完全移行の際には、178施設組合、約38,000世帯に対するJR東日本の対応方針の説明及び技術的助言等を行い、受信障害対応に貢献した。
まじま じゅんじ 馬嶋 淳二	（（一財）電波技術協会専門委員（非常勤）（元NHK職員））	平成元年に電波技術協会に入協して以来、現在に至るまで一般の視聴者がテレビジョン・ラジオ放送を良好に視聴できるための基礎となる放送電波の受信状況調査を始め、建造物や航空機等による受信障害調査等の電波障害防止のための各種調査業務に一貫して従事してきた。また、平成12・13年度に当該協会が取り組んだ「地上デジタルテレビ放送の航空機による遅延波障害の研究・委員会」に参画し、地上放送のデジタル化にも高い確度で受信障害の発生を予測する手法の確立に貢献した。
ながい てるひさ 永井 暉久	（（一社）日本アマチュア無線連盟評議員）	永年、兵庫県電波障害防止協議会委員や近畿受信環境クリーン協議会常任委員として街頭受信相談や、広報活動に積極的に参加し、受信環境クリーン図案コンクールに呼応して、「JARL関西賞」を創設し、中学校への意識向上を図った。また、JARL監査指導委員長や監査長としてアマチュア局による受信障害防止の広報や障害対策の指導・解決に活躍した。

<p>むらうち てるひさ 村 内 輝 久</p>	<p>((株)ムラウチネットワーク 代表取締役オーナー)</p>	<p>昭和37年に(有)ムラウチ家庭電気サービス(現(株)ムラウチネットワーク)に入社以来、テレビ難視地区の改善及び電波障害防止運動に携わるとともに、平成18年からは日本CATV技術協会関東支部幹事として、各種委員会を通じて地上デジタル放送の受信改善に関わり、地上デジタル放送の普及・向上に貢献した。</p>
<p>もり しんじ 森 伸 二</p>	<p>((株)ユアテック 情報通信本部 情報通信部)</p>	<p>(株)ユアテックに入社以来、テレビ受信障害の改善に向けた予測調査や対策工事に従事したほか、ケーブルテレビ工事に技術力を提供し、良好な受信環境整備に貢献してきた。また、第1級有線テレビジョン放送技術者資格の技術講師を務め、後進の指導育成に尽力する等、様々な範囲で受信障害の改善・対策に貢献した。</p>
<p>とやま ひろゆき 外 山 弘 行</p>	<p>(前(株)アイテックメンテナンス(元NHK職員))</p>	<p>NHK在職中、永年にわたり放送の受信障害改善業務に携わり、電波障害の未然防止に大きく貢献した。特に昭和50年代の都市の近代化、高層化に伴う建造物障害の改善対策に取り組むとともに、高層建築物による電波障害の事前調査及び対策に向けた当事者間協議と対策実施など、原因者責任主義の定着に尽力した。</p>
<p>よしはら つねお 吉 原 恒 夫</p>	<p>(デジサポ千葉センター長(元NHK職員))</p>	<p>昭和35年NHK入局以来、永年にわたり、新宿新都心開発を初めとする都市難視対策や雑音障害対策に従事した。また、NHK退職後は、受信相談業務に関与し、関係先に対して迅速かつ丁寧な受信対策を指導し、近年ではデジサポ千葉のセンター長として、デジタル放送への円滑な移行に大きく貢献した。</p>
<p>しみず みちたか 志 水 三 千 鷹</p>	<p>(元(社)日本CATV技術協会中部支部事務局長)</p>	<p>1959年のNHK入局から2011年のCATV技術協会退任まで、半世紀にわたりラジオの雑音防止からテレビの電波障害防止まで関係者と連携した幅広い受信環境クリーン活動に尽力し、放送の普及・発展と技術者の育成に大いに貢献した。</p>
<p>たけい よしお 武 井 由 夫</p>	<p>(自営業)</p>	<p>永年にわたりNHKの委託受信相談員として、名古屋市及びその周辺地域における受信障害調査に精力的に取り組み、電気雑音によるテレビやラジオへの電波障害の解消を図るとともに、電波障害の未然防止に努めるなど、良好な受信環境の維持に尽力した。また、地上デジタル放送の受信調査等にも精力的に取り組み、円滑なデジタル移行に寄与した。</p>
<p>きしだ ちさこ 岸 田 知 佐 子</p>	<p>((株)愛媛朝日テレビ 総務部長)</p>	<p>受信環境クリーン図案コンクールの審査委員を第32回から第44回まで計11年間担当し、審査の遂行に尽力した。</p>
<p>むらこし あきら 村 越 章</p>	<p>(株)長谷エアネシス サービス事業推進部門 技術部長)</p>	<p>永年にわたり、ビル陰対策の推進に取り組むとともに、最近では、「ビル陰・地デジ協議進め方の手引き」の作成をはじめとしてビル陰共聴施設のデジタル化の促進のための取り組みに多大な貢献をした。</p>

【【団 体】】

氏 名	実績の概要
てつどう けんせつ うんゆ しせつ せいび 鉄道建設・運輸施設整備 しえん きこう てつどう けんせつ ほんぶ 支援機構 鉄道建設本部 あおもりしんかんせんけんせつきょく 青森新幹線建設局	東北新幹線建設に際し、沿線住民の電波環境確保のため、建設後の建造物及び列車走行によるテレビ受信障害を事前に調査・予測し、その対策を実施した。これにより、沿線住民の十分な理解と協力を得て、新幹線開業後のテレビ電波受信障害の積極的な解消に努め、電波障害対策の推進に大きく貢献した。
しりつた な べちゅうがっこう むつ市立田名部中学校	平成11年以降、13年連続で受信環境クリーン図案コンクールに於いて美術担当教諭による指導の下、優れた作品を応募し、中央協議会で2点が入賞したほか、東北協議会でも数多く入賞しており、受信環境の維持・改善に関する周知啓発に大きく貢献した。
きんき 近畿スクラム	平成 21 年 10 月より近畿管内における共聴施設のデジタル化推進に取り組み、受信障害対策共聴施設の管理者や加入者への周知・啓発活動の他、共聴スーパー装置を開発・導入するなど、近畿管内における地デジ化の最大の課題とされていた受信障害共聴対策施設のデジタル化促進に多大な貢献をした。

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で54回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局
 （一般財団法人情報通信振興会内） 関
 （電話03-3940-3981）